令和４年度事業報告

1．公益目的事業

１．農作業支援事業

○農作業関係（受託事業）

公社の事業目的にある農作業支援については、農業者の高齢化と大型の機械化による更新や維持ができないため一時的に公社への委託も多く発生している。

個人の農業の廃止から公社或いは生産法人等への集約が進んでいるが、組織の中でも担い手や後継者がいないため、今後の農地の移動が懸念されるところである。

受託作業の料金については、上越市農業委員会の作業料金表と同額とし、田の管理状況に応じ一部割増料金を徴収している。

また、従来の公社を通しての再委託も数多くあったが、生産組織と直接農作業受委託され、作業料金の精算も直接行われる傾向となってきた。

再委託したものは令和４年度には 1 集落のみであり。件数、面積は下記のとおりであり手数料として双方より 1%を徴収している。

生産組合名	再委託内容
泉山ゆり機械生産組合	春耕耘 9 件 76.1 時間、田植え 8 件 780.4 ａ 秋耕耘 9 件 72.9 時間、江立て 7 件 622.0 ａ

○牧ライスセンター等管理運営関係（受託事業）

令和４年度も、ＪＡと施設業務委託契約書に基づき業務を実施した。

・ライスセンター部門

取扱量は、玄米で８４２ｔ（コシヒカリ２８５ｔ、こしいぶき６９ｔ、加工用米・飼料用１７８ｔ、みずほの輝き５１ｔ、つきあかり２００ｔ、五割低減コシ５９ｔ）となっている。

稼働率については、近年の飼料米、加工米の需要拡大により、他の地域からの持ち込みが多くあったため、計画に対し 96.0%と前年度よりも 9 ポイント減となった。

要因としては、前年度に比べて利用者の減少・全般的に天候不順あったことが未熟米につながった。さらに、ＪＡ上越営農センター管内の他施設の稼働状況も勘案しながら調整が図られるため、処理能力の 100%稼働率に届かず、今後もこのような現象が続くと思われる。

雇用については、ＪＡ営農指導員と公社職員２名他雇用者で実施したが、指導員、職員については経験者となり、また、フォークリフト資格者の雇用と作業員の低年齢化を図ったことにより、事故防止と人件費の節約に努めた。

また、施設も老朽化し、雨漏りや機械の修理が多く発生すること等稼働中のトラブルが懸念されるため JA に改善を申し入れている。

・育苗部門

取扱量は、中苗 7,927 枚、稚苗 5,352 枚、合計 13,279 枚と前年度とほぼ同数となった。

・そばセンター部門

そばの取扱量は、荷受量で 41 t であった。そばは天候が左右されるため、長雨や台風の影響による倒伏が多く、雑草の種子や根張りが悪く、土などの混入が見られ等級の格落ちが発生している。また、獣害による被害も年々多く発生し、収量が激減している地域もある。

粗選機、乾燥機等機械設備の老朽化も進んでおり、他の施設より部品を調達しながら稼働しているが、機械全体の更新が急務となっている。

２．農地保全事業（自主事業）

４年度新たに上昆子 26.6a、下昆子 19.9a を借り受け、作付面積は 3385.86a(水稲 2176.2a ,畑 1209.66a)、その他農業用施設 20.99a となった。

収穫量は、2937 袋(平均反収 6.6 俵)で、1 等米比率は 69.8%となった。

販売先については、JA へコシ 59 袋・つきあかり 566 袋・もち米 10 袋、鈴波へコシ 250 袋、ハラキンへコシ 424 袋・どんとこい 269 袋・つきあかり 209 袋、独自販売 1150 袋となっている。

４年度は、コメの販売拡大を図るため、切餅を試験的に作成販売した。販売と合わせて米の購入顧客に進呈した。個包装に真空パックされており大変好評をいただいたので令和５年度からは本格的に販売を開始する予定でいる。

そばについては、2306.0 kgの収穫量で種子用保有以外は JA へ出荷した。

３．農地利用集積円滑化事業等

〇農地利用集積円滑化事業（委託事業）

農地利用円滑化事業は、公社が借入団体となり受け手に貸し出す制度で、平成２４年度に認定を受け、契約事務及び更新の手続きを行ってきたが、中間管理事業の実施により、制度が廃止されたため今後更新時には中間管理事業へ順次移行されることになっている。令和４年度中に中間管理機構への移行した件数は４件、155.93a となっている。

円滑化事業現在の契約が令和９年度終了時をもって、円滑化事業としての業務は終了となる。

〇農地中間管理事業業務委託（委託事業）

4 年度も引き続き、農用地利用集積計画に基づく出し手からの相談・受付、賃借期間や賃料の協議、契約締結等の事務を行なう委託業務を実施した。中間管理事業へ新規で取り組む方や、円滑化から中間管理事業へ更新される方は少ない。また、令和５年度からは上越市の方針により、事務手続きについては農政課に引き継ぐこととなり、公社は相談窓口業務のみとなる。

４．中山間地域等直接支払業務委託事業（委託事業）

事務局（広域活動）

・中山間地域等直接支払交付金　事務処理
・交付金交付申請・実績報告
・活動報告書作成・支払
・超急傾斜農地保全活動（発送用袋作成）
・業務委託の集落数：23 集落

４年度交付金額　80,833,376 円
協定事務費　2,827,600 円
（内、公社受託費 1,901,704 円）

５．多面的機能支払交付金事業（委託事業）

事務局（広域活動）

・組織の広域化・体制強化
・研修会への参加
・多面的機能支払交付金事業の事務処理
・業務委託の集落数：16 集落

４年度交付金額　11,916，797 円
事務局費　1,190,800 円
（内、公社受託費 912，316 円）

６．庭先集荷サービス事業（委託事業）

例年実施していた市単事業の「庭先集荷サービス事業」は、令和 3 年度で廃止となったことから、中山間地域直接支払交付金事業の「集落機能強化加算」で取り組み、参加者の負担軽減を図っている。

令和４年度は１０名の参加者により、4 月から 12 月末までの週 2 回実施し、101 品目･13,639 点、売上高 3,044,990 円で過去最高額となった。

各農家で生産された農産物や山菜等を集荷し販売することで、所得の向上と生産者の情報交換の場として今後も期待される事業である。販売先は主として「あるるん畑」である

７．都市と農村交流事業（自主事業）

棚田オーナー会員　　７名

会員募集については、東京牧村会の会報掲載と、米購入者にＤＭ等で募集している。しかし、会員の高齢化と、新型コロナの蔓延防止等により体験ツアーも実施できずに米の発送と地域の情報提供のみとなっている。令和４年度からは新たに季節の農産物をお届けしている。

・会　費…年会費　　29,000 円

・会員特典…棚田米精米 40 kg又は玄米 50 kgと季節の農林産物

2. 収益事業

地域保全管理事業

1. 牧区水道施設管理業務

上越市ガス水道局：「牧簡易水道配水管路草刈り業務委託」

業務内容　L=1,800m　W=2.0m

L=400m　W=4.0m

枝払い･片付け

諸経費

実施時期　令和４年５月 23 日～7 月 15 日

2. 道路除排雪業務

○上越市：「道路除排雪委託業務」

委託内容　除雪車貸与　日立１台･ロータリー車１台・キャタピラー1 台

市道除雪　13 路線　L=6.31km　他公共施設駐車場内

スノーポール設置　229 本

委託期間　令和４年 12 月１日～令和５年３月 31 日

○上越市：「道路春先除雪委託業務」

委託内容　除雪車貸与　ロータリー車　１台

道路春先除雪計画に基づく除雪

委託期間　令和４年４月１日～令和４年５月 31 日

○上越市：「林道春先除雪委託業務」

委託内容　除雪車貸与　ロータリー車　１台

林道春先除雪計画に基づく除雪

委託期間　令和４年４月 14 日～令和４年４月 30 日

3. 会　議

令和４年５月２３日　　監査会
　　・令和３年度事業及び決算に関する件
令和４年５月２７日　　理事会
　　・令和３年度事業報告及び決算に関する件
　　・定時評議員会開催に関する件
令和４年６月２１日　　評議員会
　　・令和３年度事業報告及び決算に関する件
　　・評議員の補充に関する件
　　・役員の改選に関する件
令和４年６月２１日　　理事会
　　・理事長の選定に関すること
　　・副理事長の選定に関すること
令和５年３月２４日　　理事会
　　・職員の事務分掌、給与等に関する件
　　・令和５年度事業計画及び予算に関する件
　　・長期借入限度額に関する件
　　・定時評議員会開催に関する件
　　・事務局長の任命について
令和５年３月２８日　　評議員会
　　・令和５年度事業計画及び予算に関する件
　　・長期借入限度額に関する件
　　・定款の一部改正について
各種研修会、会議に参加